

# 八千代市第2次多文化共生プラン

中間見直し



八千代市

平成31年3月

## 《 目 次 》

### 第1章 中間見直しにあたって

- 1. 中間見直しの趣旨 . . . . . 1
- 2. 中間見直しの内容 . . . . . 1

### 第2章 計画の見直し

- 1. 八千代市における多文化共生の現状 . . . . . 2
- 2. 基本目標と具体的施策
  - 基本目標 1 コミュニケーション支援 . . . . . 8
    - (1) 多言語による情報提供の充実
    - (2) 日本語の学習支援の充実
  - 基本目標 2 生活支援 . . . . . 11
    - (1) 教育支援
    - (2) 健康・福祉支援
    - (3) 防災支援
  - 基本目標 3 多文化共生社会の地域づくり . . . . . 14
    - (1) 多文化共生の啓発
    - (2) 国際的な意識の向上
    - (3) 多文化理解事業の推進



## 第1章 中間見直しにあたって

### 1. 中間見直しの趣旨

本市では、2016（平成28）年3月に『互いの文化を認め合い、誰もが住みやすいまちづくり』を理念とする「八千代市第2次多文化共生プラン」（以下「本プラン」という。）を策定し、外国人住民の支援や多文化共生社会の地域づくりを推進しているところです。本プランは、計画期間を2016（平成28）年度から2020（平成32）年度までとしており、2018（平成30）年度が中間年度にあたることから、社会情勢の変化等を見据え、見直しを実施しました。

### 2. 中間見直しの内容

- （1）本市における多文化共生の現状について策定時からの変化を更新しました。
- （2）社会情勢の変化等に伴い、本プランに掲げる具体的施策について、関係部署に対する状況調査を実施し、施策の追加や内容の更新を行いました。

## 第2章 計画の見直し

### 1. 八千代市における多文化共生の現状

#### (1) 外国人住民の状況

全国及び千葉県の外国人数の推移をみますと、表1のとおり、全国では2008（平成20）年の2,217,426人まで年々増加傾向でしたが、2009（平成21）年から2012（平成24）年までは年々減少しています。千葉県も2009（平成21）年の116,958人まで年々増加傾向でしたが、全国よりも1年遅れで2010（平成22）年から2012（平成24）年までは年々減少しています。

これは2008（平成20）年9月のリーマンショック後に製造業が不況もありブラジル人・ペルー人が減少したこと、その後東日本大震災とそれに伴う東京電力の福島第一原子力発電所の事故により、中国人が減少したことが主な要因です。2013（平成25）年からは、全国及び千葉県とも増加傾向にあります。

本市の外国人数の推移は、表2のとおり2009（平成21）年の4,221人までは増加していましたが、2014（平成26）年まで年々減少傾向にあり、減少理由は全国・県と同様と考えられます。2015（平成27）年から2018（平成30）年までは、各年とも大きく増加しており、就労や留学を目的とした外国人の増加が主な理由となっています。また、国籍別では2012（平成24）年まで常に1位だったブラジルを抑え、2013（平成25）年からは中国が1位となっており、近年ではベトナム人の増加も特徴として挙げられます。地域別では、村上団地及び米本団地におけるペルー人・ブラジル人の構成比率は、表4のとおりどちらも減少傾向にあります。

**表 1. 千葉県・全国の外国人数（平成 23 年までは外国人登録者数）の推移**

年	千葉県			全 国		
	外国人数 (人)	前年 増減率 (%)	県人口に占 める割合 (%)	外国人数 (人)	前年 増減率 (%)	総人口に占 める割合 (%)
昭和 63 年 (1988 年)	25,226	—	0.47	941,005	—	0.77
平成 5 年 (1993 年)	54,389	—	0.95	1,320,748	—	1.06
平成 10 年 (1998 年)	69,308	—	1.18	1,512,116	—	1.20
平成 15 年 (2003 年)	95,391	—	1.58	1,915,030	—	1.50
平成 20 年 (2008 年)	113,024	—	1.84	2,217,426	—	1.74
平成 21 年 (2009 年)	116,958	3.48	1.89	2,186,121	-1.41	1.71
平成 22 年 (2010 年)	115,675	-1.10	1.86	2,134,151	-2.38	1.67
平成 23 年 (2011 年)	110,627	-4.36	1.78	2,078,508	-2.61	1.63
平成 24 年 (2012 年)	104,582	-5.46	1.69	2,033,656	-2.16	1.59
平成 25 年 (2013 年)	106,240	1.59	1.72	2,066,445	1.61	1.62
平成 26 年 (2014 年)	111,355	4.81	1.80	2,121,831	2.68	1.67
平成 27 年 (2015 年)	120,232	7.97	1.93	2,232,189	5.20	1.76
平成 28 年 (2016 年)	130,710	8.71	2.09	2,382,822	6.75	1.88
平成 29 年 (2017 年)	143,354	9.67	2.29	2,561,848	7.51	2.02

※千葉県

外国人数（平成 23 年までは外国人登録者数）…千葉県国際課（各年 12 月末日現在）

「県人口に占める割合」に用いた総人口…千葉県統計課「毎月常住人口調査」（各年 10 月 1 日現在）

※全国

外国人数（平成 23 年までは外国人登録者数）…法務省「在留外国人統計」（各年 12 月末日現在）

「総人口に占める割合」に用いた総人口…総務省統計局「人口統計」（各年 10 月 1 日現在）

表 2. 八千代市の外国人数の推移

(各年 3 月末日現在)

年	総人口 外国人 数 (人)	総人口に 占める割合 (%) 前年増減数 (人)	人数が多い上位 3 か国		
			1 位	2 位	3 位
			国名 人数 (人) (構成比%)	国名 人数 (人) (構成比%)	国名 人数 (人) (構成比%)
昭和 63 年 (1988 年)	145,232 353	0.24 —	—	—	—
平成 5 年 (1993 年)	152,948 1,614	1.06 —	—	—	—
平成 10 年 (1998 年)	164,062 2,569	1.57 —	—	—	—
平成 15 年 (2003 年)	179,062 3,219	1.80 —	—	—	—
平成 20 年 (2008 年)	188,624 3,815	2.02 —	ブラジル 1,049 (27.5)	中国 613 (16.1)	フィリピン 528 (13.8)
平成 21 年 (2009 年)	191,469 4,221	2.20 + 406	ブラジル 1,273 (30.2)	中国 704 (16.7)	フィリピン 559 (13.2)
平成 22 年 (2010 年)	192,570 4,189	2.18 - 32	ブラジル 1,153 (27.5)	中国 796 (19.0)	フィリピン 532 (12.7)
平成 23 年 (2011 年)	193,274 3,994	2.07 - 195	ブラジル 1,046 (26.2)	中国 761 (19.1)	フィリピン 512 (12.8)
平成 24 年 (2012 年)	192,884 3,800	1.97 - 194	ブラジル 862 (22.7)	中国 783 (20.6)	フィリピン 503 (13.2)
平成 25 年 (2013 年)	192,951 3,762	1.95 - 38	中国 872 (23.2)	ブラジル 763 (20.3)	フィリピン 547 (14.5)
平成 26 年 (2014 年)	193,332 3,698	1.91 - 64	中国 894 (24.2)	ブラジル 641 (17.3)	フィリピン 588 (15.9)
平成 27 年 (2015 年)	194,438 3,761	1.93 + 63	中国 904 (24.0)	フィリピン 633 (16.8)	ブラジル 586 (15.6)
平成 28 年 (2016 年)	195,371 4,131	2.11 + 370	中国 932 (22.6)	フィリピン 694 (16.8)	ブラジル 552 (13.4)
平成 29 年 (2017 年)	196,144 4,593	2.34 + 462	中国 982 (21.4)	フィリピン 777 (16.9)	ブラジル 587 (12.8)
平成 30 年 (2018 年)	197,723 5,013	2.54 + 420	中国 1,115 (22.2)	フィリピン 824 (16.4)	ブラジル 618 (12.3)

**表 3. 千葉県の外国人数（上位 10 か国）**

2017（平成 29）年 12 月末日現在（千葉県の外国人数：143,354 人）

順位	国名	人数 (人)	構成比 (%)	人数が多い上位 3 市町村		
				1 位	2 位	3 位
				市町村名 人数 (人)	市町村名 人数 (人)	市町村名 人数 (人)
1	中国	48,599	33.9	千葉市 10,716	船橋市 6,985	松戸市 6,657
2	フィリピン	18,580	13.0	千葉市 2,650	松戸市 1,735	市原市 1,715
3	韓国・朝鮮	16,240	11.3	千葉市 3,724	松戸市 1,665	船橋市 1,649
4	ベトナム	15,346	10.7	船橋市 2,779	松戸市 2,179	千葉市 1,667
5	ネパール	5,847	4.1	船橋市 1,140	市川市 1,034	松戸市 795
6	タイ	5,605	3.9	千葉市 534	市川市 464	成田市 353
7	スリランカ	4,261	3.0	市川市 625	船橋市 416	千葉市 386
8	ブラジル	3,316	2.3	八千代市 624	船橋市 392	千葉市 365
9	台湾	3,299	2.3	千葉市 438	市川市 345	船橋市 282
10	ペルー	2,588	1.8	八千代市 402	成田市 373	千葉市 264

**表 4. 村上団地・米本団地におけるブラジル・ペルー国籍人数**

(各年 3 月末日現在)

年	村 上 団 地		米 本 団 地	
	ブラジル (人) (構成比%)	ペルー (人) (構成比%)	ブラジル (人) (構成比%)	ペルー (人) (構成比%)
平成 21 年 (2009 年)	754 1,273 (59.2)	246 490 (50.2)	29 1,273 (2.3)	50 490 (10.2)
平成 22 年 (2010 年)	672 1,153 (58.3)	245 500 (49.0)	22 1,153 (1.9)	45 500 (9.0)
平成 23 年 (2011 年)	623 1,046 (59.6)	233 488 (47.7)	25 1,046 (2.4)	44 488 (9.0)
平成 24 年 (2012 年)	482 862 (55.9)	212 482 (44.0)	22 862 (2.6)	42 482 (8.7)
平成 25 年 (2013 年)	390 763 (51.1)	193 434 (44.5)	12 763 (1.6)	38 434 (8.8)
平成 26 年 (2014 年)	316 641 (49.3)	197 414 (47.6)	17 641 (2.7)	37 414 (8.9)
平成 27 年 (2015 年)	270 586 (46.1)	156 386 (40.4)	12 586 (2.0)	34 386 (8.8)
平成 28 年 (2016 年)	230 552 (41.7)	129 379 (34.0)	14 552 (2.5)	30 379 (7.9)
平成 29 年 (2017 年)	226 587 (38.5)	132 395 (33.4)	14 587 (2.4)	24 395 (6.1)
平成 30 年 (2018 年)	236 618 (38.2)	126 409 (30.8)	15 618 (2.4)	25 409 (6.1)

※構成比

$$\frac{\text{各団地のブラジル国籍人数}}{\text{市内のブラジル国籍人数}} \quad \text{or} \quad \frac{\text{各団地のペルー国籍人数}}{\text{市内のペルー国籍人数}}$$



## (2) 国際姉妹都市・友好都市交流の状況

### 【アメリカ合衆国テキサス州タイラー市との姉妹都市交流】

本市では、市制 25 周年となる 1992（平成 4）年にアメリカ合衆国テキサス州タイラー市と姉妹都市提携を結び、国際化に対応したまちづくりの一環として国際交流を続けています。2017（平成 29）年度までの間の交流内容は、八千代市側の受入れが 9 回、合計 290 人を招待しており、タイラー市への訪問は合計 10 回で、2012（平成 24）年度の高校生 10 人を含め合計 260 人がタイラー市を訪れています。また、外国語指導助手をタイラー市より継続して派遣してもらうことで、市内小・中学校で生きた英語教育が実施されています。長期に亘る国際交流の中で、タイラー市との信頼関係は十分築かれており、今後は文化・産業面等を視野に入れた交流が期待されています。

そのためには、市をあげて国際交流に取り組むことが重要であり、国際交流協会及び市民の方々との更なる連携が必要となります。

### 【タイ王国バンコク都との友好都市交流】

本市では 1988（昭和 63）年に国からの「ふるさと創生 1 億円事業」を活用した「八千代こども国際平和文化基金」を設置し、子どもたちによる国際交流と本市の国際化を推進することを目的に、タイ王国バンコク都との交流事業を実施しています。交流 20 年を迎えた 2008（平成 20）年 5 月には友好都市提携を結びました。

2017（平成 29）年度までの実績として、バンコクこども親善大使の受入れ人数は 266 人、八千代こども親善大使のバンコクへの派遣人数は 294 人となっており、滞在中は、表敬訪問や学校訪問、2 泊 3 日のホームステイ等を通して市民との親善交流を行っています。

この「八千代こども国際平和文化基金」については、2012（平成 24）年度に高校生をタイラーへ派遣する際、これまでの活用方法を見直し、国際文化交流事業の対象に青少年（高校生以下）を追加しておりますが、2012（平成 24）年度から基金の取り崩しもあり、今後の基金活用について検討する必要があります。

## (3) 八千代市国際交流協会の活動状況

タイラー市との国際交流、市内公共施設で開催する日本語教室、アミーゴこども日本語教室など多角的で実効性のある活動を実施しています。また、八千代インターナショナルデイやハロウィンパーティー等の開催により、市民が多様な文化に触れる機会を提供しており、近年では学生ボランティアの協力を得て事業のさらなる充実を図っています。

## 2. 基本目標と具体的施策

### 基本目標 1 コミュニケーション支援

市役所における業務内容や健診等の生活情報等を多言語により提供することで、安全で豊かな生活の支援に努めます。また、日本語の習得機会を充実させコミュニケーション能力の向上を図ることで日本での生活を支援し、住みやすい環境づくりを推進します。

#### <具体的施策>

##### (1) 多言語による情報提供の充実

###### ① 多言語による生活情報のメール配信

広報やちよに掲載される情報の中から、外国人住民にとって重要と思われる生活情報を抽出し、多言語によるメール配信をします。

###### ② 多言語によるWeb版での情報提供

各課の業務内容を簡便にまとめ、市ホームページのWeb版として多言語で掲載し、生活に役立つ情報の提供を促進します。

###### ③ 情報の多言語化

近隣住民とのトラブルの原因のひとつとして、依然としてごみの出し方があるため、生活に密着したパンフレット等の多言語化を図ることにより、摩擦要因の軽減に努めます。

###### ④ 市民団体などとの連携

八千代市国際交流協会や関連機関との連携を図り、多方面から外国人住民を支援します。

内 容	所 管
<p>①多言語による生活情報のメール配信</p> <p>ア. 多言語による生活情報のメール配信の運用・管理</p>	<p>シティプロモーション課</p>
<p>②多言語によるW e b版での情報提供</p> <p>ア. 多言語によるW e b版の掲載・更新</p>	<p>シティプロモーション課</p>
<p>③情報の多言語化</p> <p>ア. 幼児健康診査受診票の多言語版, 外国語版母子手帳</p> <p>イ. 外国語版国民年金パンフレット</p> <p>ウ. 外国人向け家庭ごみの出し方 (A 3 判)</p> <p>エ. 外国人事業者へのごみの出し方の指導</p> <p>オ. 住居表示街区案内板及び街区表示版の英語表記</p> <p>カ. 公園内における注意看板の設置</p> <p>キ. 施設等の英語・複数言語でのパンフレット</p> <p>ク. 外国人保護者への支援・情報提供</p> <p>ケ. 図書館利用案内等の英語版</p> <p>コ. 市役所本庁舎内案内板等の多言語化【新規】</p> <p>サ. 市ホームページの多言語化【新規】</p> <p>シ. 外国人居住者へのごみの出し方の指導【新規】</p> <p>ス. 外国人相談窓口における情報提供【新規】</p> <p>セ. 外国人向け情報セットの配布【新規】</p>	<p>母子保健課</p> <p>国保年金課</p> <p>クリーン推進課</p> <p>清掃センター</p> <p>都市計画課</p> <p>公園緑地課</p> <p>郷土博物館</p> <p>睦北保育園, 村上北保育園, 米本南保育園, ゆりのき台保育園</p> <p>中央図書館</p> <p>資産管理課</p> <p>広報広聴課</p> <p>清掃センター</p> <p>シティプロモーション課 (多文化交流センター)</p> <p>シティプロモーション課 (戸籍住民課, 各支所)</p>
<p>④市民団体などとの連携</p> <p>ア. 外国人高齢者からの相談・情報提供</p> <p>イ. 外国語学習サークルの学習内容の展示</p> <p>ウ. 翻訳・通訳ボランティアの整備</p> <p>エ. 八千代市国際交流協会・ちば国際コンベンションビューローとの連携</p>	<p>地域包括支援センター</p> <p>八千代台東南公民館, 東南公共センター等 (他公民館含む)</p> <p>シティプロモーション課</p> <p>シティプロモーション課</p>

## (2) 日本語の学習支援の充実

### ①日本語の学習機会の提供

関連団体等が実施する日本語教室等の開催場所の確保など習得機会の充実に  
に向けた支援に努めます。

内 容	所 管
①日本語の学習機会の提供 ア. サークル活動の支援  イ. 外国人児童・生徒等への教育相談員の派遣 ウ. 日本語教室への支援【新規】	八千代台東南公民館・東南 公共センター等（他公民館 含む） 指導課 シティプロモーション課

## 基本目標 2 生活支援

日常生活において必要となる小・中学校への入学に向けた学校ガイダンスの実施、予防接種の予診票の多言語化、災害時の対応として多言語による防災メールの自動配信など、安心・安全の確保を推進します。

### <具体的施策>

#### (1) 教育支援

##### ①学校制度等に関する情報の提供

小・中学校の新1年生となる外国籍児童・生徒に対し、学校制度の説明や学校での生活について多言語により情報提供し、学校生活の支援を行います。

##### ②学校や市民団体等と連携した日本語学習支援

関連団体によるこども日本語教室等の活動を支援します。

##### ③地域の連携強化のための機会の設定

村上地区におけるインターナショナルこどもサミットの開催や、警察との連携による周辺のパトロールや学校訪問を推進します。

##### ④多文化共生の視点に立った国際理解教育の推進

小学校5年生と中学校2年生を対象に平和・飢餓・環境問題をテーマとしたビデオ鑑賞等により、感じたことを国際平和作文として募集することや、国際平和や発展途上国への理解を目的とした国際平和展を開催することで、世界に貢献する国際人の育成を推進します。

##### ⑤不就学の子どもへの対応

国籍を問わず将来を担う人材の育成のために、不就学の子どもに対して学習のできる環境の整備を推進します。

内 容	所 管
①学校制度等に関する情報の提供 ア. 学校ガイダンスの実施 イ. 学用品の展示・説明【新規】	シティプロモーション課, 指導課 シティプロモーション課 (多文化交流センター)

②学校や市民団体等と連携した日本語学習支援 ア. こども日本語教室等の活動支援	シティプロモーション課
③地域の連携強化のための機会の設定 ア. インターナショナルこどもサミットの開催 イ. 小学生向け英会話教室の開催支援 ウ. 警察との連携による非行少年の学校訪問	指導課 八千代台東南公民館・東南公共センター等（他公民館含む） 青少年センター
④多文化共生の視点に立った国際理解教育の推進 ア. 国際平和作文コンクール，国際平和展の開催 イ. ユネスコスクールへの加盟【新規】	シティプロモーション課 指導課
⑤不就学の子どもへの対応	学務課

## （２）健康・福祉支援

### ①健康診断や検診における多言語対応の推進

検診を安全に受診するため、検診時の注意点や問診内容などの説明資料を多言語化し、受診者及び委託医療機関への配付、小・中学校での健康診断用各種問診票の翻訳作業を推進します。

### ②母子保健における対応

予防接種予診票の多言語版の活用、絵本を介した親子の言葉かけやスキンシップの大切さを伝えるブックスタートパック（絵本パック）の「イラストアドバイス集」の多言語版の活用を推進します。

### ③福祉制度について

福祉施設等の利用に際し、保護者への説明の通訳の介助や連絡事項の翻訳支援を推進します。

内 容	所 管
①健康診断や検診における多言語対応の推進 ア. 検診の案内等の多言語化 イ. 小・中学校における健康診断用問診票の翻訳	健康づくり課 保健体育課

<p><u>②母子保健における対応</u></p> <p>ア. 予防接種予診票の多言語版の活用</p> <p>イ. らくらくかんたん予防接種ナビ（多言語対応）【新規】</p> <p>ウ. ブックスタート資料の多言語版の活用</p>	<p>母子保健課</p> <p>母子保健課</p> <p>中央図書館</p>
<p><u>③福祉制度について</u></p> <p>ア. 保護者への通訳支援</p> <p>イ. 施設の利用・連絡帳の翻訳</p> <p>ウ. 福祉の総合相談【新規】</p>	<p>児童発達支援センター</p> <p>八千代台南保育園</p> <p>福祉総合相談室</p>

### （３）防災支援

#### ①多言語による防災メールの自動配信

災害時に総合防災課から配信されるメールを、外国人住民に対し多言語で自動的にメール配信し、安全確保を推進します。

#### ②防災意識の啓発

防災についてのパンフレット・チラシ等、防災訓練等への案内チラシを多言語により作成・配付することで、防災に対する意識の向上に努めるとともに、避難場所標識等の整備を推進します。

#### ③災害に備えての対応

119番受信時等の切迫した場面における支援体制や災害時のサポート体制の整備を推進します。

内 容	所 管
<p><u>①多言語による防災メールの自動配信</u></p> <p>ア. 多言語による防災メールの自動配信運用・管理</p>	<p>シティプロモーション課</p>
<p><u>②防災意識の啓発</u></p> <p>ア. パンフレット等の多言語版の作成及び配付，避難場所標識等の整備</p>	<p>危機管理課</p>
<p><u>③災害に備えての対応</u></p> <p>ア. 119番受信時の対応</p> <p>イ. 外国語救急観察カードの活用</p> <p>ウ. 災害時における外国人支援体制の整備</p>	<p>指令課</p> <p>東消防署</p> <p>シティプロモーション課</p>

## 基本目標 3 多文化共生社会の地域づくり

国籍や民族の異なる人々が、対等な関係を築きながら共に生きていくため、自治会及び企業等との連携の強化、市民との交流の場や交流の機会を提供することで多文化共生についての意識啓発を推進します。また、多様な文化に触れる機会として、姉妹都市のアメリカ合衆国テキサス州タイラー市及び友好都市のタイ王国バンコク都との交流を通じて国際理解の推進と人材育成を推進します。

### <具体的施策>

#### (1) 多文化共生の啓発

##### ①多文化共生の意識啓発

外国人住民の就職率の高い企業、地域での繋がりが求められる自治会との連携を強化し、多文化共生について意識の啓発を推進します。

##### ②交流拠点の管理

多文化交流センターの相談業務及びセンター内の交流室及び多目的ルームの利用を促進します。また、相談者等へのアンケート調査により、外国人住民の実情の把握に努めます。

##### ③関連団体からの協力要請に伴う支援

JICA等が実施する各種事業への支援に努めます。

内 容	所 管
①多文化共生の意識啓発 ア. 自治会，企業との連携	シティプロモーション課
②交流拠点の管理 ア. 多文化交流センターの活用促進 イ. 外国人住民の実情把握	シティプロモーション課 シティプロモーション課
③関連団体からの協力要請に伴う支援 ア. JICA等への支援	シティプロモーション課



## (2) 国際的な意識の向上

### ①多文化に対する理解の推進

外国人住民と市民が共生する地域づくりの推進に向けて、どちらも参加しやすいイベントを開催するなど、多様な文化に触れる機会を充実させ、国際的な意識の向上を推進します。

内 容	所 管
①多文化に対する理解の推進	
ア. 多様な文化に触れる機会の提供	シティプロモーション課
イ. 参加しやすいイベント開催の支援	シティプロモーション課
ウ. 「多文化交流 in 八千代」の開催【新規】	シティプロモーション課

## (3) 多文化理解事業の推進

### ①国際姉妹都市等との交流

姉妹都市のタイラー市と友好都市のバンコク都との交流を通して、市民の多文化への理解を深めるとともに、世界に貢献できる国際人の育成を推進します。また、本市の姉妹都市、友好都市の一層のPRを行い、両都市との交流に関わる事業の認知度を高め、これまでこのような交流事業に対して関心が低かった市民も積極的に参加できるよう方策を検討していきます。

さらに、今までの親善交流に留めず、文化・産業・経済面などの交流も視野に入れ、庁内の連携はもちろんのこと、八千代市国際交流協会等との連携を図り、可能な方策について検討します。

内 容	所 管
①国際姉妹都市等との交流	
ア. 姉妹都市交流（タイラー市）	シティプロモーション課
イ. 友好都市交流（バンコク都）	シティプロモーション課
ウ. ALT（外国語指導助手）の活用	指導課

### 【所管部署について】

各取組における所管部署については、2019（平成31）年4月の行政組織改正後の所管部署を掲載しています。

八千代市第2次多文化共生プラン  
中間見直し

平成31年3月

発行／八千代市

問い合わせ／総務企画部総合企画課

(平成31年4月からは企画部シティプロモーション課)

〒276-8501 千葉県八千代市大和田新田 312-5

☎ 047(483)1151 <代表>

E-mail: kokusai@city.yachiyo.lg.jp